



主催 石鍋香代子

ショパンとジョルジュ・サンド<魂の旋律>

[ノアの館 追憶の食卓]



葉巻を燻らす男装の作家ジョルジュ・サンドは
パリ楽壇と上流社会の寵児となっていた若きショパンを誘惑した。
彼女はショパンの死期を早めた情婦だったのか？
それとも手料理で病弱なショパンの心身を癒し、
創作の源となったミューズだったのか？



ショパンは動乱の祖国ポーランドを離れ、苦難の末、1830年20歳でパリに辿りついた。当時フランスは政治、社会的混乱の続く七月王政の時代であったが、彼の瑞々しいピアノの音色はその上品な佇まいと共にやがてパリの貴族、ブルジョワの間で評判となっていた。芸術的素養の高かったジョルジュ・サンドは巡り合ったショパンとその音楽を愛し、故郷ノアの館に誘うようになる。愛情と家庭的な安らぎを得たショパンは、夏はノアの静かな環境での創作に、冬はパリの貴族の館でのコンサートとピアノ教師の仕事にと励むようになる。

二人の出会いと別れの物語、ショパンが得意としたサロンコンサート形式でのピアノ演奏、ジョルジュ・サンドの料理書より当家に伝わる料理をお届けします。

2015年1月10日(土) 11:00~15:00

場所: 恵比寿「メゾン エメ・ヴィベール」

会費: 14,000円 (定員80名)

後援: 駐日ポーランド共和国大使館 ポーランド広報文化センター  ポーランド広報文化センター / 日本ショパン協会

ショパンとジョルジュ・サンド<魂の旋律>

当日のご案内

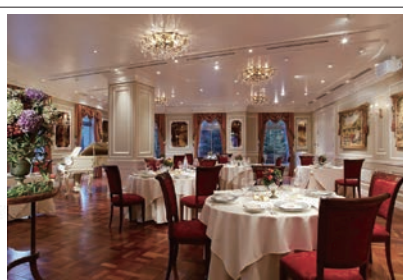
- 10:30～ 受付開始
11:00～ ショパンとジョルジュ・サンド、「人生と芸術」(石鍋香代子)
12:00～ ショパン サロンコンサート(ピアニスト吉橋雅孝 使用ピアノ:ペトロフ1952年製)
13:00～ 昼食「追憶の食卓」(ジョルジュ・サンド料理書より)

サロンコンサート ショパン プログラム(予定)

ノクターン	作品9-2
エチュード12番「革命」	作品10
エチュード1番「エオリアンハープ」	作品25
プレリュード3番、4番、18番	作品28
ポロネーズ「英雄」	作品53
幻想即興曲(ショパン手稿)	作品66
ワルツ9番(ショパン手稿)	作品69-1

昼食メニュー

アミューズ: キャビア・ド・オーベルジーヌ
オードブル: グリーンアスパラガスとパイ生地 オランダーズソース
スープ: カリフラワーのクリームスープとオマール海老の
コンソメジュレ ウニ風味
メイン: 仔羊の腿肉の7時間煮込み
デザート: ベリーのクラフティ他
コーヒーまたは紅茶(プティフルつき)
(上記メニューは食材の関係等により変更になる場合がございます。
また、アレルギー等によりメニュー変更をご希望の方は、1週間前までにご連絡ください。)



[ピアニスト: 吉橋雅孝プロフィール]

桐朋学園大学卒業。深澤亮子、泉晶子、広瀬康の各氏に師事。ライナー・ベッカー、アンジェイ・ブルーベル各氏のレッスン受講。
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン音楽祭エリアコンサート、日唄文化協会ガラ・コンサート、他に出演。
2014年6月三鷹市管弦楽団とラフマニノフ作曲ピアノ協奏曲第2番で共演。
2012年ムソルグスキー作曲「展覧会の絵」とボロディン作曲「小組曲」を収録したCDを発売。日本ピアノ教育連盟(JPTA)会員。



[主催者: 石鍋香代子プロフィール]

国立名古屋大学仏文科を卒業後渡仏。パリでライセンスガイドとして就業。帰国後フランス系輸入会社、スイス宝飾会社に勤務。
退職後通訳ガイドライセンス取得して就業。近年フランス、リヨンIIモード大学にて修士号取得。
現在通訳ガイド、翻訳業の傍らイベントを企画、自ら講師を行う。

会場: メゾン エメ・ヴィベール
東京都渋谷区広尾1-1-40
恵比寿プライムスクエア プラザ棟
URL: <http://www.aimeevibert.com>
電話: 03-5468-8080

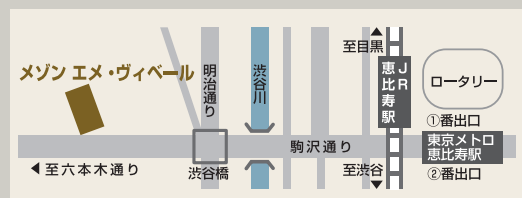
■お申込み、お問い合わせは、下記Emailまたはお電話にて承ります。

Email: event.bellemine@gmail.com

Mobile: 080-4810-0870 (木阪)
090-3100-9670 (菅沼)

■お振込先は、お申込みいただいた方にお知らせいたします。

●お振込み確認で正式のお申込みとなります。●振込み手数料は、お客様のご負担にてお願いします。●入場券等の発行はいたしませんので、当日はお振込みが確認できるものをお持ちください。●領収書の必要な方は当日お申し出ください。●ご入金後のキャンセルはお受けいたしかねますことをご了承ください。



山手線/日比谷線 恵比寿駅より徒歩5~6分